



新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり一言、御挨拶を申し上げます。

今年も 無理をせず やりたいことを ゆっくりと楽しみながら 着実にやっていきましょう
神於山を 生きものもあつまる 人も集まる 自然豊かな楽しい山にしていきたいと思います。(田口)

カレンダー

月	日	曜日	作業内容・備考
1	6	土	丸紅の森
	9	火	自然観察会 (植物)
	10	水	水辺チーム
	11	木	運営会議
	12	金	丘陵アドプト・カナエ
	13	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室⑨ フクロウ・ムササビチーム
	14	日	定例活動日 (山開き)
	15	月	クラフト勉強会
	16	火	自然観察会 (鳥)
	17	水	定例活動日
	20	土	丘陵の森
	21	日	丘陵アドプト・アストラゼネカ
	26	金	丘陵アドプト・カナエ
	27	土	定例活動日
	28	日	里山えんぴつサポート
	30	火	自然観察会 (植物)
2	3	土	丸紅の森
	6	火	自然観察会 (植物)
	8	木	運営会議
	9	金	丘陵アドプト・カナエ
	10	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室⑩ フクロウ・ムササビチーム
	11	日	定例活動日
	13	火	自然観察会 (鳥)
	14	水	水辺チーム
	17	土	丘陵の森
	18	日	神於山ハイキング⑫
	19	月	クラフト勉強会
	21	水	定例活動日
	24	土	定例活動日
	25	日	里山えんぴつサポート マッチングマート
	27	火	自然観察会 (植物)
3	2	土	丸紅の森
	3	日	道なき道あるき
	5	火	自然観察会 (植物)
	7	木	運営会議
	8	金	丘陵アドプト・カナエ
	9	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室⑪ フクロウ・ムササビチーム
	10	日	定例活動日

* 1 山開きをします。セレモニーの後エリア巡ります。乾杯のコップ、ぜんざい用のお椀とお箸を各自お持ちください。

1・2月の作業

前回の報告同様に、作業小屋の拡張工事完成に重点を置いたことで、本来の森の整備作業が計画どおりに進めていません。山開き後の巡回で園路、各エリアの手入れ箇所をピックアップして順次行います。繁茂しているクズは枯れている時がチャンスですのでこまめに刈り取りを行います。

2, 3月にかけての「トンド焼き」に向けて林道、活動エリア内の倒木、枯れ枝の集積作業も実施します。

3月17日には「神於山（里山）まつり」が復活します。そちらに向けての準備作業もあります。皆様のより一層のご協力お願い致します。

「丸紅の森」については、1月は新エリアを、2月は林道下の整備を予定しています。

□2月25日（日）——マッチングマーケットPart2

マッチングマーケットの2回目が浪切ホールで開かれます。今回も「岸和田の子どもたちへの支援」が目的です。前回と同じく、展示、体験の場、発表、交流の場とあり、子どもたちを支援する団体の“マッチング”の場がもたれます。展示は、活動の様子、神於山の動・植物、3月17日の里山まつりの宣伝、体験は、“木と竹のパズル”と題して、いろんなパズルを体験してもらうことにします。多数、御参加下さい。（田口）

□3月17日（日）——「里山まつり in 神於山」

——多くの人が集る場になるよう 力を入れて準備しよう——

神於山まつりが途絶えて12年。8年前に、“里山まつり in 神於山&ゆめみヶ丘”が開かれましたが、1回で終わってしまいました。

今年、神於山での里山保全活動が始まり、神於山保全活用推進協議会が結成されて20年となります。この節目に、改めて神於山での取り組みをふり返り、盛り上げていきたいと思えます。

- ・ この20年、神於山がどう変わったのか、どんなふうに変更されてきたのか、見てもらいたい！
- ・ いろんな取り組みの中で、おもしろいことや楽しみ方も見つけました。一緒に体験してほしい！
- ・ 神於山のこと、自然のことや生きものこと、少しずつわかって来ました。知ってほしい！
- ・ 活動する団体、メンバーも変わって来ています。活動の現状も知ってほしい！
- ・ 多くの人々が愛着を感じ、できる形で、かかわってほしい！

こんな思いを、願いを込めて“里山まつり”を開催します。

ぜひとも成功させましょう！そして、継続する催しにしていきましょう！

今のところ決まっていること

日時：2024年3月17日（日） 10:00~15:00

場所：愛彩ランド（芝生広場・楽しい学びの体験交流館）

神於山一帯

内容：愛彩ランド

- ・ 展示
- ・ バザー
- ・ 体験活動（クラフトなど）
- ・ 講演会
- ・ スタンプラリー
- ・ 体験活動（作業体験など）
- ・ 里山あそび（ブランコ・ハンモック・竹スライダー等々）
- ・ 観察会など

神於山

それぞれの団体がやれることを持ち寄る。

いずれにしても、保全クラブの担う部分は大きくなると思われるので、1月、2月、3月は通常の整備活動をすすめながら積極的に準備をすすめます。

具体的には

- ・ バザーに出品するもの
- ・ 展示するもの
- ・ 体験活動の内容
- ・ 観察会の内容
- ・ スタンプラリーの具体化
- ・ 里山あそびの内容
- ・ クラフトの内容

を分担して、考えていきます。

宣伝も大事です。一人でも多くの団体、知り合いなどに声をかけていって下さい。

春に向けての中心的な取り組みになると思いますので御協力よろしくお願ひします。（田口）

11・12月の作業

寒暖差が激しい2か月でした。11月の下旬は曇交じりの雨の中での活動でしたが、12月は10月上旬の気候で汗だくの作業の日もありました。行事の多かった11月の活動を乗り切り、12月の最後の定例活動日には40名を超す参加者が集い、1年の活動の締めくくりをしました。

○定例活動

・11月12日（日）

小屋拡張部の雨水排水用のU字溝の埋設と、藤尾池堤の草刈を行いました。ササユリについて、くらぶ内で栽培継承のためにチーム（女性主体の任意）を立ち上げ、作業を継続することとしました。その第一回目の聞き取りおよび作業を行いました。

当日は里ボラ講座の修了式があり、午後から講座生との交流を行いました。

・11月15日（水）（旧平日活動日）

作業小屋拡張部の柱基礎の埋設と、炭材及びシイタケ原木用伐採ナラの木の選定・枝打ちを行いました。

・11月25日（土）

作業小屋横拡張部の壁枠の組み立てと、ナラの木の伐採、翌日の丘陵地区「竹まつり」の準備（バザー用炭籠・竹魚釣り等）をしました。

小屋壁枠は、寸法どおりに枠木を切断し、計画通りできました。ナラの木伐採は狭い木々の間を狙っての切り倒しで、事前に枝打ちをしていましたが、立木に寄りかかってしまいヒッパラ（ワイヤーで巻き取る道具）で引き倒しました（写真-1）。

竹まつりの竹魚は新しく作りました。昼食時には芋煮がふるまわれ、お腹はもちろん心も温くなりました。ごちそうさまでした（写真-2）。

・12月10日（日）

小屋増設部の屋根板張り、炭材の伐採と、管理竹林の草刈、さらに、基地の整備を行いました。屋根板張りはストレート部分だったので、効率良くでき80%程度の完成です。炭材については、「シャープの森」「住友GENKIの森」からの伐採をそれぞれの団体より依頼を受けての作業です。その手始めに「シャープの森」より6本伐採し、前回伐採した材と合わせて次回の窯焼き量を確保しました。斜面、狭い樹間での伐採作業のため、苦勞していました。

基地については、参加会員の増加で昼食時の座席、荷物掛けが不足していました。階段部及び囲炉まわりの座席整備と荷物掛けの増設をしました。

・12月20日（水）（旧平日活動日）

小屋増設の年内完成を目指して集中しました。以前の小屋の増設部とのコーナー部の柱立て、屋根部骨組み立てを行いました。

入口側の壁面は丸太風の装飾としました（写真-3）。

・12月23日（土）

小屋拡張コーナー部の壁枠・壁板張り、屋根板張り、入口扉設置を行いました。この日に完成すべく多くの方に参加を願いました。コーナー部である上に傾斜があるため、壁枠がなかなか決まらず壁板の一部が来年度への持ち越しとなりました。

シイタケ原木用に伐採したナラ材を、木こり部隊で玉切し、管理竹林内のシイタケの柵木置き場に運びました。

例年どおり注連縄を女性陣にて製作していただき、参加者に持ち帰ってもらえました（写真-4）。



○丸紅の森活動

・11月4日（土）

午前は当日納入されるチップの管理竹林内への運搬用道作りと、林道下の伐採したナラの木が立木と絡んでいたのを処理しました。

午後にチップパーが納入され、その取扱い説明を受けるとともに、デモ運転で2人ほど操作を行いました(写真-5)。今後の活動に大いに貢献するでしょう。当面は使用者を限定しての運用とします。

・12月2日(土)

チップパーを管理車道終点より竹林内に運搬し、実稼働させました(写真-6)。小型なわりには、パワーがあり太径の竹も粉碎するうえ、枝付きの若竹も処理でき、期待通りの機械です。

竹林内のササユリエリアにもう少し目をあてるべく周辺の竹を伐採しました。



写真-5



写真-6

11月12日(日) 里山ボラ講座は終了しました!!

今年度(2023年度)里山ボランティア育成入門講座は、無事完了することが出来ました。関係された皆様方に御礼申し上げます。

第6回里山ボランティア育成入門講座 活動報告

■日時/天候: 令和5年11月12日 9:20~15:00 曇りのち雨/14℃

■参加者: 13人(男性6人、女性7人)

■内容: (午前)・総括: ①~⑤の講座の振り返り

・終了証書授与: 参加者12人(不参加の3人は後日郵送)

: (午後)・茶話会: 講座生交流 焚火を囲んで竹飯とクマ笹茶

・記念植樹: 2本(コナラほか)とササユリの種まき

■感想など: 全体振り返り: 1回から6回の総括

岸和田市挨拶: 平成11年から25回継続し、374人の修了生を輩出
内、今年度終了は15人(男性6人、女性9人)

■反省/課題: 後半に降雨に見舞われたが、植樹には恵みの雨となった。

前回より10℃近く冷え込んだ為、途中重ね着などしてもらったが備えの十分でない講座生もみられ、次年度はウェアリングの留意連絡も必要と感じた。また、植樹の事前準備(植樹の掘り起こし作業など)、・・・略・・・里山整備のボランティア活動に対し、多くの講座生の理解と共感を得た。今後継続的な関わりを希望する声を頂くことが出来た。(活動報告から抜粋)



令和5年度 里山ボランティア育成入門講座 総括

今年は、「ゆっくりと」を考慮して進行しました。猛暑は厳しい状況でしたが、受講された方の感想では、多くが「良い体験ができた」とのことで一安心しました。

この体験が今後の活動に生かされるか、それぞれのとらえ方によって違うと思います。

今回の申込総数21人(男性9人、女性13人)中4人の受講辞退があり、受講者17人(男性7人、女性10人)の受講者に対し、15人が4回以上の参加となりました。

12月時点でくらぶ入会は7名(男性3、女性4)でした。内、2名は元気な80歳台の男性と女性です。今後、定例活動日で紹介しますので、楽しく仲間入りできますようよろしくお願いいたします。(野口)

秋の体験活動報告

□ 11月2日(木) 光明小学校5年生体験活動

当日、天候晴れ、気温18℃絶好の体験学習日和。

5年生(112名)を3班に分け愛彩ランド9:30に出発し、国見の森広場10:00到着。

10:15作業小屋に整列、保全くらぶT氏挨拶の後、オリエンテーリングともの作りスタート。1コース、トトロ道探検～展望台コース 2コース、もの作り:鉛筆とハンモック作り 3コース、コースター・ブランコ・ハンモック乗り・坂登・丸太渡り。それぞれのコースを3班が随時交代で体験しました。

トトロ道探検コースでは、先導のスタッフがコースを間違えたり、付き添いのお母さんが道から2m下に落ちたり、先頭～後尾まで間隔が広がりましたが、元気な児童達が大きな声を出し励まし合いながら1時強のコースを全員踏破しました。

鉛筆とハンモックでは、小刀の扱いを苦労しながら鉛筆の芯を上手に削り、ハンモックの材料である竹割りを女子も積極的に参加し、竹割り工具と掛矢を使い楽しそうに割っていました。

コースター・ブランコ・ハンモック乗り・坂登り・丸太渡りでは、コースターが一番人気でみんなキャア～キャア～言いながら滑り、飛び入りの先生も参加し盛り上がりました。

今回の体験学習を通じ、日頃できないことを経験し、思い出を持って14:20学校への帰路となりました。

学校の先生6名付き添い1名、スタッフ12名も児童の元気パワーを貰うことができました。(吉本)



□ 11月3日(金祝) ガールスカウト体験活動

今回、みなさん少しおとなしい印象でした。まず、50周年記念で植樹したエリアの草刈りと、枯れてしまったシンボルツリーの再植樹です。その後、しいたけ狩りをしました。午後からは保全くらぶおなじみの遊具で自由に遊びました。

今後は、もう少し課題を設けてスケジュールを立てた方がいいのかなと感じました。

(上林)

□ 11月16日(木) 久米田保育園里山あそび

秋晴れの中、久米田保育園の年長さん20名と先生方3名が愛彩ランドに到着。林道と広場まで、途中落ち葉プールに入れる枯葉を集めながら登ります(今年は枯葉が少なかった)。あいさつをすませた後は、早速落ち葉プールにダイビングして遊びました。

恒例のトトロの道探検では、誰からともなくトトロの歌♪が。「ほんまにトトロおるん?」「トトロ、今何してるんやろ?」と、何だかワクワクする山道です。冬イチゴも味わいました。

お弁当の後は、よく焼けた美味しい焼き芋を食べました。竹スライダー、ベンチブランコ、一本吊りブランコ、遊ぶ内に子どもの動きがどんどん活発になってきます。最後は崖登りです。ネザサをつかんで一人でスイスイと上がっていく子もいますが、大人の支えでやっとこさ登れた子も、支える方は大変でした。

里山遊び楽しんでくれたかな?当方9名子どもたちの笑顔に元気をもらった一日でした。(兵埜)



□ 11月17日（金）修斉小学校全校オリエンテーリング

11月10日が雨のため11月17日に延期になっていたのですが、それも雨天のため学校で活動することになりました。1, 2限は通常授業で3, 4限がオリエンテーリングです。私たちは多目的室でコーナーを設け、子どもたちは縦割りグループ7~8人で移動するのです。6年生が下調べをしておいた神於山の歴史や動植物のクイズラリー6問に答えながらの移動です。私たちは全部で6コーナーつくりました。ムササビ、動物の足跡、野鳥、タゴガエルとオオムラサキ、木の実と森のえんぴつそしてスズメバチの巣の展示です。みんな熱心に上級生が下級生を指導して活動していたのには感心しました。4限目は体育館に集まり私たちが用意した「竹つみ」競争です。幼稚園も加わり8グループの試合です。チームの応援も熱心で大いに盛り上がりました。竹つみ3セットはプレゼントしました。雨天のため神於山で肌での体験ができなかったのは残念でしたが、校内ですることにより私たちが間近に子どもたちと接し話をする時間を多くとれたことはよかったです。子どもたちも上下の関係を深められたでしょう。何年かに一度はこの活動を入れるのもいいなと後で先生たちと話しました。（杉原）



□ 11月19日（日）源流の森

北ロータリークラブが北クラブとなり、ボーイスカウトと保全くらぶと3者で“源流の森”活動をはじめて10年、1つの区切りを迎えました。

オオクス広場周辺、記念碑周辺の草刈りと、園路の整備、オオクスの陰になっているスギを一本切る作業をしました。この10年で、植えた木々もずいぶん大きくなりました。

“ナラエモン”は枯れ、オオクスも一段と立派になりました。10年たち、それぞれの団体の事情により、3者揃っての源流の森整備活動はこれで終りとなりそうです。保全くらぶは、ここの整備も定例活動の中に位置づけていくことにします。（2024年度方針で確認します）（田口）



○ 12月10日（日）里山えんぴつ

毎月元気に楽しく活動をされ、“里山えんぴつ・岸城の森”も整備されて来ました。スタードームができ、だんじりのコマを脚にテーブル・ベンチも出来、そこへのアプローチの道もきれいに出来ています。これからどんな活用や展開が生れるのか楽しみに見守っています。

次号から、里山えんぴつのメンバー（大人、子どもとも）さんからの声のコーナーが作れたら、と考えています。（見守り隊・田口）

○ 桜台子ども工作教室 11月11日、12月9日

11月は「そりにのったサンタ」。まず小枝の斜め切り。そこにサンタの顔を描くのですが、目の位置、大きさによって表情がかなり違ってきます。斜め切りも顔が長くなったり、丸くなったりとなるのですが、うまく帽子の位置で調整していました。目を小さく描いた子もかわいいサンタになりました。目がぱっちりアニメ風にする子どももいました。そりに乗ったサンタが出来上がると、やはりクリスマスツリーが必要です。紙をくりぬき支柱をつけてツリーのできあがり。トナカイの要望もあったのですが、私たちの課題としましょう。

12月は来年の干支、「たつ」です。竹の輪切りを互い違いに合わせ、頭にはノグルミの実をつかいます。ノグルミの実のカットにはセンスが必要で又接地面が小さいので竹にくっつきにくいのです。でも心配をよそに出来上がって好きな色付けをし、目とりっぱなヒゲをつけるとみんなそれなりに空に向かって飛んでいく「たつ」になりました。竹で輝く日の出も作りました。時間の関係で和凧が作れなかったのが残念ですが、十分立派な正月飾りができました。（杉原）



11月7・8日（火・水）自然再生全国協議会

全国会議が熊本県阿蘇にて開催され、田口理事長と共に、参加・出席しました。

初日は午後から阿蘇草原にて見学・牧野作業体験、二日目は、会議（発表・意見交換・識者まとめ等）でした。

牧野作業体験は、阿蘇の草原の維持・管理が大変であることを、参加者に理解してもらうために計画されていました。実際、阿蘇の広大な草原の斜面での作業はキツイ上に、作業場所への移動にも時間を費やすために、多くの人手と時間が必要であることを実感しました。

阿蘇草原は、里地里山としての頂部の放牧地であり、下方に続く中間地帯の林・野草地、平地の農耕地と一体化された土地利用で維持されています。

会議においては、熊本県・企業・団体よりの発表の後、「自然再生基本方針」の見直しに関する意見交換がありました。「自然再生推進法」は昨年で施行20年となり令和6年度に見直しされる予定です。これに関連して質疑応答で、田口理事長から『全国会議を含めた運営も見直しの時期に来ているのでは・・・』と提言されました。

全国の各団体においても、高齢化、人手不足の声が多く色々と模索しているようですが、決定的な解決策が見いだせないようです。初めての参加で戸惑いもありましたが、私にとっては、意義がありました。（井阪）



11月14日（火）第4回きしわだ森づくり活動団体いきもの情報交流会

今回は、『蜻蛉池公園 夢の森づくり隊』活動地見学をメインに各団体との交流を行いました。

出席者（10団体19名）紹介の後、『蜻蛉池公園 夢の森づくり隊』会長小林伸一氏より会結成の概要、活動内容、課題について説明を受け、活動地を見学しました。その後、会場（公園ミーティングルーム）にて、質疑応答、意見交換、次回予定説明を行いました。

『蜻蛉池公園 夢の森づくり隊』の最大の課題は後継者とのこと。保全くらは、人材に恵まれていることを再認識しました。

情報提供として、①自然資料館・風間様より「神於山（貝塚）のカタツムリ」、②岸和田市都市整備課・川崎様より「丘陵地区の動き」の話がありました。次回は6月頃にハイブリット会議で「神於山と川」をテーマに昔の農業との関係及び、そこでの生きものについての情報交流を考えています。

会議終了後、市関係部署、各団体との間で名刺交換が行われました。また、今回初めて参加された「蜻蛉池公園事務所」の亀山所長と自然資料館風間氏とで、今後の交流検討を話されていました。これらが、交流会の開催意義と考えます。今後とも皆様の協力よろしくお願い致します。（本交流会についてはビデオ撮影しています。）（井阪）



11月26日(日) 桜台公民館まつり

桜台公民館まつりワークショップに、保全くらぶ子ども工作教室より、「ウグイス笛作り」で参加しました。去年教室に来てくれていた子、今年来てくれている子たち、親子連れの人たち、沢山の人で賑やかな一時でした。

うまく出来なくて苦労しているお父さんを、子どもさんが手を貸したりして、参加された全員が笛を完成しました。中には、2個3個と作って帰られた人もいました。(高井)

12月17日(日) 自然資料館ミニ工作

きしわだ自然資料館では今 “足”をテーマとする特別展が開かれています。そこへ動物の足跡ということで、神於山藤尾池の水辺の動物の足跡の写真を少し提供しています。

足という展開からか 竹ぼっくりを…という依頼があり取り組みました。20人受け入れということで40節の竹がいります。工程は竹を切って穴を開けひもを通すだけで簡単ですが、竹がたくさんいります。20人を超える子供が参加、堺市や貝塚からの子供もいました。生き物や恐竜が好きだから来たという子が多かったです。

竹ぼっくりを作った後、竹の打楽器に合わせてステップを踏んだりして楽しく過ごしました。(テレビきしわだの取材カメラが来ていたので子供たちは一層張り切っていました。)

5名のメンバーが来てくれました。(田口)



丘陵地区の動き

11月26日の竹まつりも盛況のうちに無事終了しました。御協力ありがとうございました。いろいろと課題も感じられたのでは、と思いますので、ぜひお聞かせ下さい。

次は春の“タケノコ掘イベント”に向けて準備が始まっています。また御協力をお願いします。

丘陵アドプト

- ・ カナエさん 11月17日、12月15日と2回続いて雨のため中止、順調に竹切り進んでいたのに止っています。1月は12日(金)と26日(金)、2月は9日(金)に予定されています。
- ・ 平田タイルさん 12月21日に森づくりをどう進めるか、担当者話し合いの場がもたれ、今後の活動に反映されると思います。新年の予定は未定です。
- ・ アストラさん 11月26日、竹まつりの日に活動、記念植樹をしています。12月16日は竹切と門松づくりをしました。(写真)1月は21日(日)に活動予定です。

1月20日(土)の“丘陵の森活動”はアドプトはなしで、久しぶりに、当初の植栽地の手入れを、フラチームの応援を得ながらやります。

新しい動きとして、丘陵地区での森づくり活動を希望される会社があり、アドプトとして具体化しそうです。仲間がまた1組増えそうです。(田口)



——仲間が増えるかな！？——

現在、“神於山で森づくり活動をしたい”という団体さんがあり、2回候補地を見てもらっています。場所が絞られれば、市との調整の上、アドプトの手続きとして当団体と府と市とで協定書を取りかわし、正式な活動団体となります。その上で、保全くらぶとして、どんなサポートを求められ、何が応えられるかつめていくこととなります。神於山でも、また1つ仲間が増えそうです。(田口)

チーム活動報告

□ クラフトチーム

11月、ぬくかったり寒かったりの日々だが今年もあと少し。竹で作る干支シリーズの季節、龍に挑戦。桜台子ども工作用の子ども版のタツも作ってみる。十二支の中では想像上の動物であり一番むつかしい。“らしさ”の特徴を考えて……作る。

12月、女性陣はミニ門松を作る。これまでのシノ竹を使った高さ10cmほどのものから、マダケを使った20~30cm高のものを作る。男性陣は、チッパー置き小屋拡張作業に専念。門松づくりを終えた女性陣にも、小屋の壁を“薪置場”ふうに長さ5~6cmの丸太をベニヤ板に貼って作ってもらう。(田口)



□ 炭焼チーム

昨年5月に火入れをした後は炭焼きの活動は無く、12月に再開となりました。例年は11月から炭材のための伐採を始めるのですが、作業小屋増築の作業で12月スタートとなりました。事前に許可を得ていた「シャープの森」のクヌギを十数本伐採し、今シーズンの炭焼きチームの活動開始です。遅くなりましたが、2月には火入れを行う予定です。たくさん作業がありますので、興味のある方、ご協力お願い致します。

【活動報告】12/10(日)「シャープの森」でクヌギ(8本)の伐採と作業小屋への運搬

12/23(土)「シャープの森」残り8本の伐採と作業小屋→基地への運搬

【活動予定】1月・2月・炭焼きの準備と火入れ、炭作り作業

(村瀬)

□ シイタケチーム

今年もシイタケの原木を準備し、1月の第1定例活動日に楢木への菌打ちを行います。

木こり部隊(炭焼きチーム)の支援にて、6本のナラを伐採し、大径33本、小径20本の楢木ができました。これにそれぞれ40個、28個の菌を打ちます。両方で、1,900個の菌ですので、1日は要します。

例年お手伝い頂いている皆さんの協力よろしくお願い致します。



□ ササユリチーム

ササユリの活動報告

11月中旬 今年開花したササユリの種を採取しました。

紙袋に入れ風通しの良い所で 春まで乾燥させます。

11月中旬~下旬 直径2ミリ~3ミリに育った球根(種採取から2年後)を基地の上斜面のササユリ畑に植えました。

この球根が 開花するのは、何年後でしょうか?

とても 待ち遠しいです。(都田弘美)

□ 植物チーム

「紅葉を楽しむ自然観察会」は、12月3日(日)曇天の中実施しました。参加者は、会員8名、会員外4名の12名。外周路を歩きながら、スズメウリやサネカズラ、タンキリマメほか、たくさんの植物を観察しながら歩きました。神於寺に着いたとたん日が射して、真っ赤なモミジの紅葉に、歓声を上げました。昼食後、林道への上り坂を、上を見たり横を見たり、後ろを振り返ったりして、紅葉を堪能しました。(山根)

□ 鳥チーム

カキ、タマミズキ、カマツカ、リョウブなどなど、神於山には木の実がいっぱいです。ですが、11月にはまだ冬鳥が全く見られませんでした。冬鳥の代表格のツグミは観察を始めてから11月に確認できたのは3分の1程。里には来ていたのでこれで普通なのかも知れませんが。

12月に入ると、ツグミ、シロハラ、ジョウビタキなどお馴染みの顔ぶれに出会えました。葉が落ちて見やすくなるので、これからのシーズンがたのしみです。(宮脇)

□ 水辺チーム

11月8日12月13日両日とも4号園路小川を主として整備をしました。此处は例年タゴガエルが繁殖地として卵を産み付けますが今年の荒天により木々の枝が折れ落ち、又砂が強雨の為流れ込み埋まってしまうました。果たして来年もタゴガエルが来てくれるか心配です。多くの枝を拾い集め土留めとして役立つように小川の両側に並べ、さらに流れ込んでいる砂をかきだしましたが以前のような状態に戻すのは簡単ではありません。今後も降雨後の流れの状況を見ながら続けたいと思います。合間には子供たちの体験活動に使う竹材切をして楽しんでおります。(15DEC まつだ)



□ フクロウ・ムササビチーム

12月9日(土)ムササビの巣箱を新たに設置しました。

ムササビは、木々が鬱蒼とした巣箱に来て住み着いたことシャープの森で聞きました。Wood・木・樹の森で考えると藤尾池堤の三本クヌギの奥の自然林にそのような環境があるので、ムササビ巣箱第7、8、9号として3基設置しました。巣箱はフクロウ1基、ムササビ9基となりました。

今後は、フクロウの巣箱を製作と監視カメラでの観察やフルドサイン探し等の情報収集をしていきます。会員の皆様にも協力をお願いすることもあります。よろしくお願いいたします。

フクロウ・ムササビチーム 野口

自主イベント情報！！(どちらも雨天中止、不明の場合は090-8577-3566へ)

◇ 2月18日(日)神於山ハイキング⑫ー筆書きでめぐる

※9:30 愛彩ランドバス停集合、14:30~15:00頃解散

久しぶり(2回中止)にのんびりと歩きます。

愛彩ランド→外周路→回向岩コース→林道→東尾根→国見台→丸紅→ころも岩→丸紅→大谷→西山→林道→布引山→山頂→大楠→作業小屋→2号園路→愛彩ランド

◇ 3月3日(日)道なき道あるき<健脚向>

——ひたすらまっすぐに東へ！——

未知なる地形、植生発見

意賀美神社をスタートし、まっすぐ東へ向かいます。まっすぐ歩けば、外周路・桜地藏あたりに出るはずですが。

事務局より

・山には水道施設がありません。手洗いや飲食用(カップ麺や食後のコーヒーなど)は、各自、必要な水を持参するようにしましょう。また、食事イベント(芋煮、ぜんざい、天ぷらなど)の際には、更に皆が少しずつ余分に持参いただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

新入会員紹介コーナー（入会順）

今年も里ボラ講座修了後、たくさんの方がメンバーに加わってくれました。

よろしくお願いします！！

辻野 新一（つじの しんいち）様 田野岡 和紀（たのおか かずき）様
 野田 洋美（のだ ひろみ）様 横田 好美（よこた よしみ）様（家族会員）
 西出 由美子（にしで ゆみこ）様 雑野 謙司（ざつの けんじ）様
 藪野 侑子（やぶの ゆうこ）様

- シリーズ -

神於山と私

安藤 里美

神於山では、みな様方が協力して、仲よく、ボランティアをする姿に、感動しています。

この前は、婦人の方々が作ってくださった芋煮は、何人もの方々がおかわりする程の絶品でした。

私としては、仕事をもっているのもあって、出席率が低いのですが、できるだけ、参加させてもらいたいと思っています。なぜなら、体力作りに役だったり、新鮮な空気を吸えたり、又、色々な物作りを親切に教えて頂けますので、毎回ワクワクしているからです。

活動の記録(11・12月)

11月

2日(木)	光明小5年生体験活動	12名
3日(金)	ガール体験活動	7名
4日(土)	丸紅の森	16名
8日(水)	水辺チーム	4名
9日(木)	運営会議	13名
11日(土)	桜台子ども工作⑦ クロー・ムサビチーム	7名 5名
12日(日)	定例活動日 里山ボランティア講座⑥	28名
14日(火)	自然観察会(鳥) 第4回きしわだ森づくり交流会	7名 7名
15日(水)	定例活動日	7名
16日(木)	久米田保育園体験活動	9名
17日(金)	修斉小全校オリエンテーリング	8名
18日(土)	丘陵の森	3名
19日(日)	源流の森	8名
20日(月)	クラフト勉強会	14名
21日(火)	神於山アドプト	2名
25日(土)	定例活動日	43名
26日(日)	丘陵地区「竹まつり」 桜台市民C館祭りクラフト 丘陵アドプト・アストラゼネカ	13名 4名 2名
28日(火)	自然観察会(植物)	8名

12月

2日(土)	丸紅の森	16名
3日(日)	モミジを楽しむ自然観察会	8名
5日(火)	神於山保全活用推進協議会	2名
7日(木)	運営会議	12名
9日(土)	桜台子ども工作⑧ クロー・ムサビチーム	9名 5名
10日(日)	定例活動日 里山えんぴつサポート	37名 2名
12日(火)	自然観察会(鳥)	9名
13日(水)	水辺チーム	5名
14日(木)	HP改編委員会	4名
15日(金)	丘陵アドプト準備	5名
16日(土)	丘陵アドプト・アストラゼネカ	5名
17日(日)	自然資料館クラフト	5名
18日(月)	クラフト勉強会	13名
19日(火)	回向岩コース調査 丘陵アドプト参加予定団体見学	1名 2名
20日(水)	定例活動日	12名
21日(木)	丘陵アドプト・平田タイル打合せ	2名
23日(土)	定例活動日	41名
28日(木)	丘陵アドプト参加予定団体見学	1名